



自民党衆議院埼玉県
第一選挙区支部長

(見沼区・浦和区・緑区・岩槻区)

村井ひできです。

本号では、「外交・安全保障政策」
についてお伝えいたします。

「坂の上の雲」に学ぶ外交・安全保障

政治活動を始めて半年。今回は、経済政策と並んで問い合わせの多かった、外交・安全保障政策を取り上げます。外交・安全保障と言っても、出発点は経済政策と同じ。それは、我々が安心して豊かな生活を送るための土台作りということです。

ただし、外交・安全保障は、「弱肉強食」が当たり前の厳しい国際環境の中で、国の存亡に直結する厳しい舵取りが求められます。**外交・安全保障政策の間違いは取り返しがつきません。**村井ひできの基本認識を、説明します。

昨年末に放送されたNHKドラマ「坂の上の雲」をご覧になった方も多いと思います。原作は、司馬遼太郎が日露戦争を舞台に近代日本を描いた傑作小説。私は、この「坂の上の雲」にこそ、外交・安全保障のあるべき姿が描かれていると思います。

日露戦争は、帝政ロシアのアジア進出が原因でした。満州を奪い、朝鮮半島まで属国化しようとするロシア帝国主義に対し、日本は何度も自重を求めます。

しかし、日本を甘く見たロシアは譲歩せず、戦争に突入。ロシアは日本の数倍に及ぶ強大な軍事力を持ち、世界の誰もがロシアの勝利を疑わない中で危険な賭け。ところが、秋山兄弟など、優秀な若者が大胆かつ緻密な戦略を立てロシア軍を撃破、世界中で語り継がれる「東洋の奇跡」を起こしました。

忘れてはならないのは、「奇跡」は周到な準備によって実現されたことです。当時の海軍や陸軍は、日清戦争直後からロシアを念頭に置いた開戦準備を周到に進めました。さらに、当時の最強国である英国と日英同盟を結び、新興国の米国とも良好な関係を築くことで、外交的にロシア包囲網を形成しました。こうした準備があったからこそ、世界中を驚かせる勝利を勝ち取れたのです。

国際環境の変化を冷静に見極め、外交と防衛を一体的なものとして安全保障戦略を構築し、着実に準備を進めること。これこそ、我が国の外交・安全保障の基本であり、近代日本の偉大な遺産だと思います。

「弱肉強食」の東アジア

日本が置かれた厳しい国際環境は、100年前と何一つ変わっていません。むしろ、**危険は増すばかり**です。

北朝鮮は100万人以上の軍隊を持ち、核兵器や弾道ミサイルの開発を着々と進めています。新しい指導部の下で、何が起きるか予断を許しません。

中国は200万人以上の軍隊と核兵器を持ち、毎年15兆円以上の防衛支出を行うことで強大な海軍や空軍を整備中です。さらに、軍事力を背景に、東シナ海や南シナ海、そして尖閣諸島への領土意欲を全面に押し出しています。

北方のロシアには旧ソ連時代の核兵

器が大量に残っています。また、日本と比較的価値観を共有する韓国との間ですら、竹島問題などが厳然と存在します。

このように、東アジアでは、まだ「冷戦」が終わっていないどころか、いつでも「熱戦」に変わる危機的な状況が続いているのです。

残念ながら、「友愛が大事」とか「アジアと仲良くしよう」という淡い願望だけでは、この国の安全保障を確保し、国民生活を守ることは出来ません。**今こそ、厳しい現状認識に裏打ちされた確固たる外交・安全保障が必要です。**



ミニ集会、随時開催中です！



多くの学生がポスティングボランティアに参加してくれています。

今、我が国に求められる外交・安全保障の姿

私も財務省時代に外交官の端くれとして租税条約やFTAの交渉を行い、米国やアジアにたくさんの友人ができましたが、彼らは口を揃えて、「今の日本の外交は危なっかしくて見てられない」と言います。

普天間基地の移転問題。北朝鮮の拉致・ミサイル問題。TPP。今の政権は、大事な外交問題でも、その場の思いつきのように方針を打ち上げ、腰砕けに終わり、関係国に迷惑をかけています。国民が知らない間に、日本の国際的な評判や信頼は地に落ちるばかり。そんな日本の失敗を冷静に観察して、我が国を前後左右から揺さぶろうとしているのが今の中国や北朝鮮なのです。

日米同盟の深化。必要な軍事的抑止力の維持。積極的な国際貢献。経済分野や環境分野における積極的な国際ルール作り。このような、戦後日本が大事にしてきた外交・安全保障の基本原則をもう一度確認した上で、綿密に準備をしながら、中国や北朝鮮などに対して毅然とした態度を貫いていくこと。これが、今まさに日本の外交に求められていることではないでしょうか。

例えば、東シナ海の領土問題やガス田問題。中国は、沖縄と中国の間に眠る天然ガスなどの資源を虎視眈々と狙っています。このため、尖閣諸島の領有権を強硬に主張するとともに、一方的に天然ガスの採掘

を進めています。特に、民主党政権への交代後、我が国の外交の混乱を突くかのように、ますます中国が圧力を高めていることは皆さんご存じのとおりです。

こうした中国の動きを止めるためには、まずもって我が国が毅然とした態度を示すことが大事です。その上で、緻密に何重にも包囲網を築いていくことが大事です。中国はメンツを重んじる国であり、国際世論の動向を大変気にしています。国際社会に日本の主張の正当性を訴え、少しずつ応援団を増やす。特に、東アジアに大きな影響力を持つ米国については、政策当局者はもちろん国民世論のレベルからしっかり我が国の主張に引き付けておくことが大切です。

こうした外交戦略は、北朝鮮との関係でも同じです。残念ながら、我が国の力だけで北朝鮮の拉致問題や核兵器問題を解決することは困難です。米国や韓国、ロシアなどと協力しながら、少しずつ北朝鮮への包囲網を狭めていく。今後も、こうした外交の基本戦略を維持することが必要です。

歴史やこれまでの積み重ねを大事にしながら、緻密な戦略立案・周到な準備を行う。そして、我が国の国益を堂々と主張することで、国民生活の豊かさと安心を守る。これが、村井ひできの目指す外交・安全保障の姿です。

村井ひできさんは、一般公募における厳正かつ公正な審査の結果、自民党が責任を持って選んだ人材です。彼に日本の未来を託してください。「村井ひでき」は、我々の期待に応える能力・意志・責任感を持った男です。

自民党埼玉県連幹事長 長沼威

『我々も、村井ひできさんを応援します！』

埼玉県議会議員(第1選挙区内)



荒川岩雄
浦和区選出



小島信昭
岩槻区選出



青羽健仁
浦和区選出



井上洋平
岩槻区選出



江原大輔
岩槻区選出



鶴崎敏康
見沼区選出



中山欽哉
見沼区選出



高橋政雄
緑区選出



田村琢実
見沼区選出



福島正道
浦和区選出



帆足和之
浦和区選出



細沼武彦
見沼区選出



武笠光明
緑区選出

さいたま市議会議員(第1選挙区内)



ポスター設置のお願い!

ポスター(左写真)設置にご協力頂ける方は村井ひでき事務所までご連絡ください。
サイズ: 縦84cm×横60cm

『村井ひできプロフィール』

昭和55年さいたま市生まれ(旧浦和市)。浦和市立別所小学校、私立海城中学・高等学校、東京大学卒業。平成15年財務省入省。米ハーバード大学大学院修士・ケネディ行政大学院客員研究員を経て、主税局課長補佐、参事官補佐。平成23年9月財務省退官。一般公募を経て、10月より現職。

＜村井ひでき事務所連絡先＞

〒330-0063 浦和区高砂1-10-18-4F TEL:048-825-0085 FAX:048-826-5304 E-mail:info@muraihideki.com